

## がっこう ちか 学校の近くにある不思議 **8**

☆ 「吾孀」って、な～に？

① 日本が、まだ一つにまとまっていなかった「1900年」も  
前の頃の話…。どこまでが本当の話かなあ？

◇ ヤマトタケルノミコ（天皇の息子）の船が沈没！？

◇ 命をささげた「オトタチバナヒメ」。



えどじだい ほん  
江戸時代の本より



ひと  
この人がヤマトタケル

◇ 「吾妻恋し（私の妻が身を捧げた。悲しい、恋しい…）」

→ 姫の着物を納めて吾孀大権現としてお祀りした。

② 江戸時代の吾孀神社

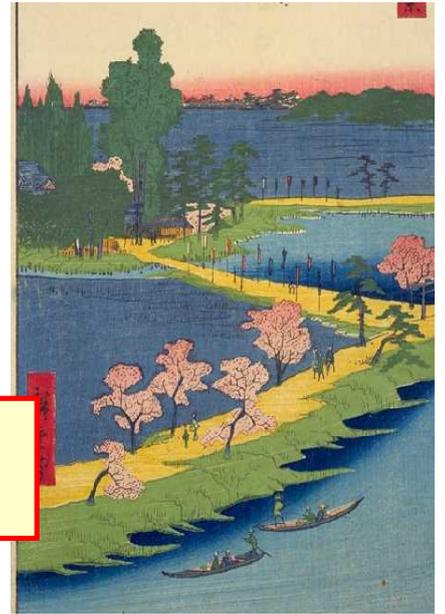
◇ 吾孀の森・浮洲の森（木が茂った小さい島のよう…）。

◇ 歴史の本、浮世絵で紹介された。

◇ 連理の楠（地面に差したお箸から生えた楠）。

→ 1本の木から2本の幹が伸びている、縁起の良い樹木。

え ど じ だ い ひ と は ま も び よ う き  
 →江戸時代の人は、葉っぱをお守りにしたらしい（病気が治る、恋が実る）。



え ど じ だ い あ ず ま も り あ ず ま じ ん じ や  
 江戸時代の 吾孀の森・吾孀神社  
 え か ぶ か わ き た じ つ け ん が わ  
 絵・下部の川は「北十間川」

み ぎ が わ か れ ん り く す の き  
 右側が枯れてしまった連理の楠

③戦争後に復活した**吾孀神社**!!

◇明治時代の**洪水**

+大正時代の**関東大震災**

+昭和時代の**東京大空襲**

→75年ほど前に**再建**した!!



◇神社は、「**花王の前・福神橋のたもと**」にありますよ。

むかし まち な ま え  
 昔は、町の名前にも

あ ず ま  
 「吾孀」がついていたらしいぞ…。